

(吉田町まちづくりステップアップ行政評価)

令和元年度 行政評価結果報告書

静岡県吉田町

本資料の見方

1 資料の概要

本資料は、PDCAサイクルの考え方を取り入れた吉田町まちづくりステップアップ行政評価システムのツールである、「吉田町まちづくりステップアップシート」の「C (Check)」シートにおける次年度の方向性を抜き出し、取りまとめたものです。

原則、ここで示された方向性に基づき、次年度以降の実施計画の作成及び次年度予算要求が行われます。

2 項目の説明

本資料における項目ごとの説明は以下のとおりです。

- ① 「No.」…通しの番号
- ② 「実施計画事業名」…評価の基本単位となる実施計画事業の名称
- ③ 「平成30年度の予算事業」…平成30年度に予算を伴って実施した「実施計画事業」に対応する「予算事業名」と「決算額」
- ④ 「令和2年度の方向性」
 - ・ 「現状のまま継続」…実施計画事業の目的や手法を変えずに継続する場合
 - ・ 「見直しの上で実施」…実施計画事業の目的や手法を見直して実施する場合
 - ・ 「休止」…実施計画事業の目的はそのまま、実施計画期間において実施を中断している場合
 - ・ 「廃止」…実施計画事業の全部を取りやめる場合
 - ・ 「終了」…あらかじめ予定された実施計画事業が終了した場合
- ⑤ 「判断理由」…「令和2年度の方向性」を選択した理由
 - ・ 「現状のまま継続」…現状のまま事業を継続する根拠
 - ・ 「見直しの上で実施」…事業の目的や手法が変更された経緯や工夫する点
 - ・ 「休止」…事業の実施を中断する理由、再開に向けての方向性
 - ・ 「廃止」…事業を廃止する理由
 - ・ 「終了」…事業が終了する年度
- ⑥ 「担当課」…実施計画事業の担当課

参考資料

○前期基本計画における章・分野

第1章	災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり	1P
分野	地震・防災対策 治山治水対策 交通安全対策 くらし安全 消防・救急	

第2章	誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり	9P
分野	健康づくり 地域医療 地域福祉 社会保障 子育て支援 高齢者福祉 障害者福祉	

第3章	活力あふれる産業振興のまちづくり	21P
分野	農業 水産業 商工業 観光 新産業 企業誘致 雇用・就業対策	

第4章	魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり	29P
分野	土地利用 住環境 公園・緑地・水辺 道路網 生活交通 コミュニティ 多文化共生 賑わいづくり	

第5章	次代を担う心豊かな人を育むまちづくり	47P
分野	幼児教育 学校教育 地域教育 青少年健全育成 芸術文化・文化財 生涯学習 スポーツ・レクリエーション	

第6章	豊かな自然と共生するまちづくり	59P
分野	上水道 下水道・浄化槽・し尿処理 環境衛生 ごみ減量・リサイクル 地球温暖化防止対策	

第7章	行政と住民が一体となって取り組むまちづくり	65P
分野	行財政 高度情報化 情報公開 広報・広聴 住民参画 男女共同参画 ユニバーサルデザイン	

参考資料

○「令和2年度の方向性」の集計結果は次のとおりです。

現状のまま継続	見直しの上で実施	休止	廃止	終了	合計
147	69	68	1	3	288

第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり

第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり 分野1 地震・防災対策

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
1	災害救助事業	災害救助費	1	現状のまま継続	・引き続き、現状のまま事業の実施をする。	福祉課
2	災害復旧事業	農業水産施設災害復旧費	0	現状のまま継続	・災害発生時において、公共土木施設等が適正に操作できるよう、点検等を実施する。	建設課
		公共土木施設災害復旧費	0			
3	地震・防災対策事業	地震対策費	11,670	現状のまま継続	・防災に関する補助制度を最大限に活用し、地震・津波対策を推進する。	防災課
		国民保護対策費	42			
4	防災意識向上事業	防災意識向上事業費	13,459	現状のまま継続	・防災公園(北オアシスパーク)を拠点とし来園者等を対象に既存防災設備の説明等を通じ防災意識の向上と知識の普及に努める。 ・引き続き、地域の防災リーダーとなる地域防災指導員と次世代を担う防災リーダーとなるジュニア防災士の育成に努める。	防災課
5	TOUKAI-0促進事業	TOUKAI-0促進事業費	13,401	見直しの上で実施	・令和2年度からの木造住宅耐震補強事業及びブロック塀等耐震化促進事業については、プロジェクト「TOUKAI-0総合支援事業費補助金(県費補助金)」に加えて、「社会資本整備総合交付金(国庫補助金)を活用した事業の実施が可能となったため、これらを活用して事業を実施する。 なお、木造住宅耐震補強事業については、新制度では耐震補強計画と耐震補強工事との一体型補助金となるため、これまでに耐震補強計画を作成済みの者を救済するための措置として、令和2年度に限り従来型補助金と新制度補助金を併用するものとし、併せて啓発活動を推進することで、住宅・ブロック塀の耐震化を加速させる。	都市環境課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
6	津波・高潮危機管理対策事業	—	—	見直しの上で実施	・海岸防潮堤(川尻工区)及び多目的広場の取合部が令和2年度に接続予定であり、吉田漁港から大井川河口部までの約2kmにおいて、L2津波を防ぐ防潮堤機能が完成する。 このことにより、大きく変化した沿岸地域の地形条件を踏まえ、L2クラスの地震、津波に対し、より効果的で継続的な整備方針を決定するため、具体的な検討を進める。	産業課
7	防潮堤整備事業	防潮堤整備事業費	7,373	見直しの上で実施	・法面の植生や階段など海岸保全施設に含まれるものについて、構造や仕様の検討を行い、海岸法第13条第2項の規定に基づき変更協議を実施する必要がある。 ・天端道や側道など占用施設となるものについて、シーガーデンシティ構想と連携を図りながら構造や仕様の検討を行うとともに占用協議を実施する必要がある。 ・(東側)河川防災ステーション及び(西側)多目的広場との接続について、関係機関と調整を図っていく必要がある。 ・計画的な工事発注により令和2年度末までに盛土(植生を含む。)を完了させ、海岸保全施設として静岡県に引き継ぎを行う。	建設課
8	情報伝達充実・強化事業	情報伝達充実・強化事業費	116,967	現状のまま継続	・防災行政無線(移動系)のデジタル化整備について、計画的に事業進捗を図る。 ・災害時の円滑な対応を図るため、情報伝達機器の操作について職員に周知する。	防災課

第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり 分野2 治山治水対策

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
9	治水対策推進事業	治水対策推進事業費	15,475	見直しの上で実施	・坂口谷川水門が完成するまでは、「坂口谷川水門建設促進期成同盟会」による要望活動を継続する。 ・町内の河川及び水路において、定期的な浚渫を実施する。 ・坂口谷川流域総合的治水対策アクションプランに反映させるためにも住吉地区浸水対策計画策定業務を実施する。	建設課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
10	水防事業	水防費	1,438	現状のまま継続	・今後も、水害等の災害に備えるため、水防資材の補充及び点検を実施する。	建設課
11	都市下水路事業	都市下水路費	100	休止	・現在の実施内容が維持管理的な浚渫であることから、都市下水路の改良等を実施するまでは休止とする。 ・浚渫については、治水対策及び環境対策として定期的を実施する必要があることから、町内の河川及び水路とともに治水対策推進事業において実施する。	建設課
12	大幡川等改修事業	大幡川改修事業費	41,500	現状のまま継続	・令和元年度に引き続き、大窪川の河川改修を上流に向け実施する。	建設課
		大幡川改修事業費 (繰越明許)	29,706			
13	西の宮川改修事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
14	前川改修事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
15	高畑山通り排水路改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
16	下西排水路改修事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
17	中川原排水路改修事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
18	西の宮東排水路改修事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
19	問屋川改修事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
20	稲荷川改修事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
21	西川原問屋2号線水路改修事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
22	水門・排水機場維持管理事業	水門・排水機場管理費	5,497	現状のまま継続	・引き続き、農地の効率的な利用が図れるよう、農業用施設の維持管理に努める。	建設課

第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり 分野3 交通安全対策

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
23	交通安全推進事業	交通安全推進費	5,517	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者事故をはじめ、町内で発生している交通事故の事故類型、事故原因及び事故発生箇所を踏まえ、交通安全設備の設置、交通安全広報・教室等を実施し、交通事故の減少を図る。 ・交通安全広報の充実強化を図る。 	防災課
		交通指導員活動費	5,740			

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
24	交通安全対策事業	交通安全施設整備費	4,994	現状のまま継続	・道路パトロールや地元からの要望、また、通学路の合同点検や未就学児の移動経路等の合同点検の結果に基づき、交通安全施設の復旧及び設置を継続することで安全で安心な交通環境を維持する。	建設課

第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり 分野4 くらし安全

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
25	防犯対策推進事業	防犯対策推進費	10,136	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「防犯教室」や「セーフティよしだ」等の事業を中心に実施し、犯罪件数の一層の減少を図る。 ・地域の実情を把握している各自治会に、引き続き防犯灯の整備業務を委託することにより、地域の防犯意識の向上を図るとともに、円滑かつ、効果的に維持管理できる体制づくりをする。 ・警察署、榛南防犯協会及び防犯推進団体と連携を図り、効率的、効果的に防犯対策事業を進める。 	防災課
26	消費生活啓発事業	消費生活費	826	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・専門相談員設置の周知を継続し、町民からの複雑多様化する相談ニーズに対応する。 ・民生委員、社会福祉協議会及び各学校と連携した高齢者、障害者、未成年者の見守りを実施する。 ・公共施設や町内イベント、団体の会合に向いて啓発活動を行う。 	産業課

第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり 分野5 消防・救急

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の 方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
27	吉田町牧之原市 広域施設組合負担金 (消防費)	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(消防費)	7,748	現状のまま継続	・過年度の起債残高の償還を計画的に実行する。	防災課
28	消防救急広域事業	消防救急広域事業費	283,773	現状のまま継続	・広域化によるスケールメリットを持続的に最大限に生かし、「常に変化に対応し、住民の期待に応える消防」を目指す。	防災課
29	消防団運営事業	消防団運営費	19,750	現状のまま継続	・消防団、まとい会、町内会及び行政が協力し新入団員確保に当たるとともに、消防団協力事業所表示制度を推進し、消防団員がより活動しやすい環境を整え、退団者を減少させることにより、消防団員の増員を図る。 ・引続き、消防団の充実・強化を図ることにより、地域に密着した要員動員力と即時対応力の向上を図る。 ・各種災害に対応できるよう、訓練及び講習会を通じ、消防団員の技術及び知識の高揚を図る。 ・女性消防団員の視点を活かしたきめ細やかな運営を支援し、女性団員の活躍の場を広げるとともに、女性消防団員の新規入団者を確保する。	防災課
30	消防団員福利厚生 事業	消防団員福利厚生費	9,727	現状のまま継続	・引き続き、退職報償金の支給、公務災害補償、消防団員の福祉共済への加入を継続することで、団員の福利厚生の充実を図る。	防災課
31	消防施設整備事業	消防施設整備事業費	40,328	現状のまま継続	・災害対応能力の向上を図るため、計画的に消防車両(消防ポンプ車、小型動力ポンプ付積載車)の更新を図るとともに、消防水利の適切な維持管理を継続して実施する。	防災課

第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり

第 2 章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり 分野 1 健康づくり

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
32	保健衛生管理事業	保健衛生管理費	8,013	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 施設の適切な維持管理を行い、保健センター機能の維持及び改善を図る。 令和2年度までに「吉田町公共施設等総合管理計画」に基づく個別施設計画の策定が求められている。また、保健センターは、大規模改修時期の目安である建築後30年を経過していることから、老朽箇所について修繕を実施しつつ、調査のための準備を進める。 	健康づくり課
33	健康づくり事業	健康づくり事業費	1,721	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> すこやかプラン吉田21(健康増進計画、食育推進計画)の策定を実施する。 	健康づくり課
		ダンス健康づくり事業費	5,598			
		健康体操運営費	3,547			
34	健康増進事業	健康増進事業費	26,551	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> がん検診によってがん死亡を減らすためには、死亡率減少効果が科学的に証明されている検診を、適切な精度管理の下で実施することが重要なことから、「自治体担当者のためのがん検診精度管理マニュアル」に沿って実施する。 各種検(健)診の受診動向を分析し、検診や精密検査受診率向上を図るとともに、個別受診勧奨の対象者や内容について見直しが必要である。 	健康づくり課
35	感染症予防事業	感染症予防費	87,844	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 対象者が混乱することなく、確実に接種できるよう予防接種に関する情報を的確に捉えて遂行する。 令和3年度まで引き続き追加的風しん対策事業を実施する。 乳幼児健診、相談、家庭訪問、個別の相談など機会を捉え、未接種者や対象者に対し接種勧奨を実施し、接種率の向上を図る。 	健康づくり課
36	母子保健事業	母子保健衛生費	57,345	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠期からの切れ目ない支援体制の強化を図るため、必要な支援がタイムリーに実施できるようサービス内容の検討、充実を図る。 	健康づくり課
		妊娠・出産包括支援事業費	2,486			

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
37	食育推進事業	食育推進事業費	371	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・すこやかプラン吉田21(健康増進計画、食育推進計画)の策定をする。 ・町の栄養課題の解決のため、食育推進計画に基づいた食育事業を推進する。 	健康づくり課

第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり 分野2 地域医療

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
38	地域医療体制整備事業	地域医療対策事業費	20	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療体制の課題と対策について、関係機関と協議を継続する。 ・行政、関係機関、住民が連携を図った上で、それぞれの役割分担を検討する。 	健康づくり課
39	榛原総合病院組合事業(負担金)	榛原病院負担金	390,875	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・負担金の継続により、通常医療のみでなく、地域の中核となる公設の病院として、夜間救急や災害時の救護病院として、あるいは、在宅医療を支援する病院として機能させる必要があるため、現状の維持が必要である。 	健康づくり課
40	救急医療体制整備事業	救急医療対策事業費	6,846	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・志太榛原地域の救急医療体制を維持するとともに、関係市町で課題等について、協議を続け、より良い体制の整備に努める。 	健康づくり課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
41	災害時医療救護対策事業	災害時医療救護対策事業費	447	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・救護所に必要な物品を見直し、引き続き整備を進める。 ・医療救護計画や災害時健康支援マニュアル等の内容の検討、整備を引き続き実施する。 ・医療救護訓練を定例で実施する。 	健康づくり課

第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり 分野3 地域福祉

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
42	地域福祉推進事業 (福祉総務事業)	福祉総務費	1,495	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共生社会の実現を目指し、町民・事業者・行政等が協働し、情報共有を密接に行い連携を強化する。 	福祉課
43	臨時福祉給付金給付事業	臨時福祉給付金給付事業費	9,288	終了	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に繰越により実施した事業をもって終了した。 	福祉課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
44	地域福祉推進事業 (地域福祉計画の策定)	地域福祉計画策定事業費	63	現状のまま継続	・策定委員会を開催し、地域福祉施策の進捗状況の確認及び評価を行い、本計画の推進に努める。	福祉課
45	地域福祉推進事業 (戦没者追悼事業)	戦没者追悼事業費	587	見直しの上で実施	・現在の平和と繁栄の陰に、先の大戦において、内外地を通じて多数の犠牲があったことを深く考え、平和への思いを新たにするために今後も式を継続する。 ・会場の選定を含め遺族の高齢化へ対応していくため、今後の式の在り方について検討を行う。	福祉課
46	地域福祉推進事業 (社会福祉協議会)	社会福祉協議会補助金	36,126	現状のまま継続	・社会福祉協議会が地域福祉の推進を図るための中核的役割を担い、町や他の関係機関と連携しながら、地域の福祉力の増進に努めていけるよう補助金助成を継続する。	福祉課
47	地域福祉推進事業 (民生委員・児童委員活動)	民生・児童委員活動費	6,183	見直しの上で実施	・民生委員・児童委員協力員制度を活用し、民生委員児童委員の負担軽減と新たな担い手の掘り起こしをしていく必要がある。	福祉課

第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり 分野4 社会保障(国民年金・国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険・生活保護)

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の 方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
48	国民年金事務事業	国民年金事務費	1,687	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 法定受託事務・協力事務を、適切かつ確実に処理する。 制度変更があった点については、被保険者に対し、周知及び理解に努める。 収納率向上のため、口座振替やクレジットカード納付を促進させる。 	町民課
49	国民健康保険事業 会計繰出金	国民健康保険事業会計 繰出金	150,121	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度から国民健康保険事業が広域化(市町と県の共同運営)されたが、一般会計からの繰出しについては、これまでどおり、国の示した基準に沿って適正に実施する。 	町民課
50	国民健康保険事業 (特別会計)	国民健康保険 特別会計	2,901,740	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 医療費抑制に向け、特定健康診査の受診率向上を図り、早期に疾病を発見し予防することを目指す。 生活習慣病予備群には特定保健指導を実施し、医療費の抑制につなげる。 医療費の適正化を図るため、レセプト点検、重複多受診防止のための指導を行う。 国保広域化により、安定的な財政運営や効率的な事業運営に向けた事業を行う。 保険証と高齢受給者証の一体化を実施し、効率的な事務処理を目指す。 インセンティブによる交付金事業に対応するため、収納率の向上及び保健事業の強化を図る。 	町民課
51	後期高齢者医療事業	後期高齢者医療事業 事務費	265,172	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 保険料の納付を含む制度の周知を図り、保険料の収納率向上に努める。 	町民課
52	後期高齢者医療事業 (特別会計)	後期高齢者医療 特別会計	262,796	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 後期高齢者医療制度は現行制度が継続されるため、今後も適正に事業を行う。 収納率向上のため、未納者への対応を継続して実施する。 	町民課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
53	介護保険会計繰出金	介護保険事業会計繰出金	271,859	現状のまま継続	・平成29年度に策定した第7期介護保険事業計画に沿って、事業を円滑に実施するために、介護保険制度に基づいた割合で繰出しを行う。	福祉課
54	介護保険事業 (特別会計)	総務費	38,211	見直しの上で実施	・平成29年度に策定した第7期介護保険事業計画に基づいて事業を実施する。 ・新しい総合事業を円滑に実施するとともに、地域包括ケアシステムの構築を目指し、生活支援体制を整備する。	福祉課
		保険給付費	1,657,483			
		基金積立金	13,458			
		地域支援事業費	118,786			
		諸支出金	39,665			
		予備費	0			
55	低所得者利用者 負担額軽減措置事業	低所得者利用者負担額 軽減措置事業費	331	現状のまま継続	・介護保険制度に基づく事業であり、低所得者の負担軽減を図るため、現状のまま継続する。	福祉課
56	生活保護事業 (生活保護費)	生活保護費	27	現状のまま継続	・本事業は生活困窮者に対する突発的な資金援助に資するものであり、今後も存続させる必要がある。 ・生活保護制度の利用に至らぬように、生活保護実施機関である静岡県並びに生活困窮者自立支援機関である社会福祉協議会と連携し、生活困窮者におけるセーフティーネットの強化を図る必要がある。	福祉課

第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり 分野5 子育て支援

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
57	地域子育て支援拠点事業	地域子育て支援拠点事業費	4,942	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、利用者の年齢やニーズを的確に捉え、各種事業を充実させる。 各種事業を充実させるとともに、事業の広報にも力を入れる。 事業数や実施場所の拡大等を図り、子育て支援センター利用者数の増大に努める。 	こども未来課
58	吉田町次世代育成支援(児童手当事業)	児童手当費	513,886	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 児童手当法に基づき、適切に事務処理を行い事業を推進する。 	こども未来課
59	こども医療費助成事業	こども医療費助成事業	122,632	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 静岡県こども医療費助成事業費補助金交付要綱及び吉田町こども医療費助成要綱に基づき、引き続き事業を推進する。 	こども未来課
60	児童福祉事業	児童福祉費	13,050	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度に策定する新たな子ども・子育て支援事業計画に基づき、必要となる施策を検討する。 引き続き、出産祝金事業等、子育ての負担感を軽減するための施策を検討する。 ファミリー・サポート・センターの周知により会員数や利用実績の増加を図るとともに、円滑な運用のための見直しを行う。 	こども未来課
61	保育園管理運営事業	保育園管理費	205,322	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 保育園入所希望者に対して、個々のニーズに応えるため、さらなる保育士の確保を検討する。また、給食員や保育士の処遇改善を図り、他市町より当町が働きやすい環境をアピールし、給食員・保育士確保に繋げる。 令和元年10月から3歳～5歳児の幼児教育・保育の無料化が始まり、今後さらなる保育園入所希望者が予想されることのほか、多様化し複雑な事務業務が懸念されるが、国の制度に沿って対応する。 待機児童対策として、民間事業者の新規参入等を検討する。 	こども未来課
		さくら保育園運営費	18,199			
		すみれ保育園運営費	24,348			
		さゆり保育園運営費	17,639			
		わかば保育園運営費	24,688			

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
62	児童館運営事業	児童館運営費	7,933	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 各種事業の開催を継続して行うとともに、ボランティアによる活動の促進を図る。ただし、イベント内容を再度吟味し、開催時期の変更や開催場所等も検討する。 今後も、継続してホームページ等により各種事業やイベントの周知を積極的に行うとともに、写真を活用し、さらなる周知を図る。 	こども未来課
63	児童遊園整備事業	児童厚生施設整備費	225	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、児童遊園地の維持管理を行い、地域の子ども達に安全で快適な遊びの場を提供する。 既設の遊具は、定期点検の結果を基に、必要に応じて修繕を実施する。 引き続き、利用者数・設置根拠等の問題から、廃止・移管を含めて今後の管理体制について検討する。特に、土地所有者等が吉田町ではない場所について、遊具も含めた管理体制について今後も継続して方針を検討する。 	こども未来課
64	児童発達支援事業	こども発達支援事業費	22,796	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が安心して子育てができ、児童一人ひとりが健やかに育つためには事業を継続する必要がある。 	こども未来課
65	子ども会育成助成金事業	子ども会育成連合会助成事業費	400	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、子ども達の交流の場を創出していくことで、次世代を担う児童の心身ともに健全で健やかな育成を支援する。 	こども未来課
66	放課後児童健全育成事業	放課後児童健全育成事業費	46,499	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 増加施設分の運営を含め、放課後児童クラブの運営を円滑に行う。 利用者が待機することなく、安全に利用ができています。 支援員の確保及び資質の向上を図る。 	こども未来課
		放課後児童クラブ建設事業費	174,813			

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
67	児童虐待防止事業	児童虐待防止事業費	2,979	見直しの上で実施	・子ども家庭総合支援拠点に向けた児童相談(児童虐待及びドメスティックバイオレンス対応)の体制強化を図る。	こども未来課
68	ひとり親家庭対策事業	ひとり親家庭対策事業費	5,745	現状のまま継続	・ひとり親家庭の経済的な自立と生活の安定を図るため、日常生活の支援や相談支援を行う。 ・児童扶養手当及び母子家庭等医療費助成は、国や県の施策に基づく事業であるため、適正な事務処理が行われるよう努める。 ・制度の変更に随時対応し、県と調整しながら事務処理を適正に行うよう努める。	こども未来課

第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり 分野6 高齢者福祉

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
69	高齢者福祉推進事業	高齢者見守り体制整備事業費	464	見直しの上で実施	・令和2年度に「第9次高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画」を策定する。 ・高齢者見守りネットワーク協力事業所を増加させ、高齢者を見守る体制を充実させる。	福祉課
		ひとり暮らし高齢者等対策事業費	624			
70	高齢者社会参加推進事業	高齢者社会参加推進事業費	9,905	現状のまま継続	・シルバー人材センター会員の増加と高齢者の社会参加を推進するため、高齢者福祉推進関係団体としての活動を支援する。 ・高齢者の地域活動の推進と福祉の向上に資するため、さわやかクラブへの補助金交付による支援を継続する。	福祉課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
71	高齢者福祉事業	福祉介護手当支給事業費	2,020	見直しの上で実施	・高齢化が進む中、高齢者とその家族が安心して生活を送ることができるように、各種福祉サービスについて再検討する。	福祉課
		老人福祉対策費	750			
		敬老事業費	3,410			
		老人保護措置費	5,076			
72	高齢者福祉施設管理事業	社会福祉施設管理事業費	60,807	現状のまま継続	・施設の管理運営について、住民サービスの向上や経費の削減を図るため、指定管理者制度を継続する。	福祉課

第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり 分野7 障害者福祉

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
73	障害者自立支援施設管理事業	障害者自立支援施設管理事業費	3,507	見直しの上で実施	・現状の委託契約及び福祉サービスについて改めて精査し、事業内容について見直しを行い、障害福祉施策向上への取組の強化に努めるよう事業を継続する。	福祉課
74	障害者自立支援事業	心身障害者自立支援事業費	514,474	現状のまま継続	・障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、引き続き事業を実施する。	福祉課
		地域生活支援事業費	24,899			

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
75	障害者在宅福祉事業	心身障害者施設等負担金	23,616	見直しの上で実施	・施設長寿命化計画を立てるための調査費を計上し、適正な負担金を支出し、障害児が安全で快適に利用できるよう支援を行う。	福祉課
76	障害者更生援護事業	心身障害者福祉費	2,825	現状のまま継続	・障害のある人が身近な地域において、保健・医療サービス等を受けることができる提供体制の充実を図り、自立生活に向けた支援体制を構築する。	福祉課
		心身障害者更生援護費	47,360			

第3章 活力あふれる産業振興のまちづくり

第 3 章 活 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 1 農 業

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
77	農業総務事業	農業総務費	903	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会等へ参加し、知識の習得や情報交換等を通じて、近隣市町との協力関係を構築する。 ・気象災害を被った農作物の損害を補償する農業共済制度により、農家の経営を守り、農業生産の発展を促す制度として農家が納める掛金の一部を町が負担し、負担の軽減を図ると共に制度運営の円滑化に継続して取り組む。 	産業課
78	農業委員会運営事業	農業委員会運営費	4,323	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・農業委員・農地利用最適化推進委員の積極的な活動支援を行う。 ・農業委員・農地利用最適化推進委員による農地流動化(利用集積)を促進する。 ・農地法等の厳正な事務執行にあたり、農地流動化の推進や意欲ある担い手の育成・確保に取り組む、農業全般にわたる諸問題を解決するように努める。 ・農業者年金への新規加入を促進するため、個別訪問等を積極的に行う。 	産業課
		農業者年金事務費	164			
79	農業振興事業	農業振興費	3,450	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、農業団体等への支援を行うことにより、地域農業の振興に寄与する。 	産業課
80	農業経営所得安定 対策推進事業	農業経営所得安定対策 推進事業費	150	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、事業集亜地の普及啓蒙を図り、制度への新たな加入者の促進を図る。 ・水田台帳を活用し、農業者への耕作地の情報を効率的に提供する。 	産業課
81	畜産事業	畜産業費	23	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・豚コレラ(CSF)は感染力が強く、令和2年度も引き続き警戒する必要があるウイルスであるため、中部家畜保健衛生所、志太榛原農林事務所及び町内畜産農家の方と情報共有し、未然に防ぐことができるように努める。 	産業課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
82	担い手育成総合 対策事業	担い手育成総合対策 事業費	3,746	見直しの上で実施	・人・農地プランを実質化させる取組を行っていくことから、農家の担い手、県及び農協と連携して地域で話し合い、将来にわたって地域の農地を誰が担っていくのか、誰に農地を集積・集約化していくのかなど、吉田田んぼを維持保全していく取組を進めていく予定である。	産業課
83	土地改良事業	土地改良事業費	22,357	現状のまま継続	・引き続き、土地改良区への賦課金助成金や国営大井川農業水利事業(第1期、H11～H21)に加え、令和2年度から同事業(第2期、H13～H29)に伴う償還金の支払が追加される。 ・農業水利施設は農業生産基盤の中核施設であると共に、環境、防災、国土保全等の多面的機能を果たす公共性・公益性の高い施設であり、今後も安定的なム用水の供給や施設機能の適正な管理を図る。	産業課
84	用水路補修・ 維持事業	用水路改良維持修繕費	1,036	現状のまま継続	・引き続き、農地の効率的な利用が図れるよう、農業用施設の維持管理に努める。	建設課
85	吉田坂部幹線用水路 改修事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
86	耕作放棄地対策事業	耕作放棄地対策事業費	100	現状のまま継続	・荒廃農地の解消及び発生防止の推進のため、担い手への斡旋や新たな町独自の補助制度の広報及び活用に向けて農業者を引き続き支援し、荒廃農地の解消と農地の有効利用に向けて取り組む。	産業課

第 3 章 活 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 2 水 産 業

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の 方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
87	水産振興事業	水産振興費	1,174	現状のまま継続	・4市1町(静岡市、焼津市、牧之原市、御前崎市、吉田町)の連携を更に強化し、それぞれの持つ長所を活用しながら「駿河BlueLine」事業を実施することで、当町の水産物を県内外にPRし、効果的に水産振興を図る。	産業課
88	地域栽培推進事業	地域栽培推進事業費	467	現状のまま継続	・負担金による事業実施により、漁場環境の改善が図られ、漁獲量に対する効果が徐々に表れてきていることから、今後も継続的に事業を進め更なる水産資源を確保する。	産業課
89	漁港管理事業	漁港管理費	52,162	現状のまま継続	・引き続き、漁港漁場整備法及び吉田漁港管理条例等の規定に基づき、南駿河湾漁業協同組合吉田支所と連携し、吉田漁港の適正な維持管理に努める。	産業課
90	水産基盤整備事業	水産基盤整備事業費	16,000	現状のまま継続	・引き続き、漁港施設整備に係る各事業の事業計画に沿って計画的に事業を実施する。特に、多目的広場の整備を重点的に実施し早期完成に努めるとともに、漁業環境の向上を図るため、機能保全事業において、港内の浚渫工事を継続実施する。	産業課
		水産物供給基盤機能保全事業費	15,700			
		漁港環境整備事業費	4,925			
		漁港環境整備事業費 (繰越明許)	84,760			
91	小規模局部改良事業	—	—	休止	・現時点では緊急を要する施設整備はないため、令和2年度は休止する。	産業課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
92	流木等処理対策事業	—	—	見直しの上で実施	・台風等の影響で海岸に漂着物が打ち上げられ、漁港海岸の景観保持や環境対策が必要となる場合に実施する。	産業課

第 3 章 活 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 3 商 工 業

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
93	商工業振興事業	商工業振興費	826	現状のまま継続	・小規模事業者の経営の安定と振興を図るため、補助要綱に基づき、商工会が行う経営改善普及事業を支援し、補助金支出を継続する。	産業課
94	中小企業振興事業	中小企業振興費	629	現状のまま継続	・引き続き、各制度要綱に基づき適正に事業を行い、中小企業の経営基盤の安定及び健全な発展を支援する。	産業課

第 3 章 活 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 4 観 光

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
95	観光振興事業	観光振興費	38,423	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・シーガーデンシティ構想の進展に伴い、観光案内所や水産物の直売所、食堂等を設けた観光施設の整備を検討する。 ・外国人観光客に対する対応を検討する。 	産業課
96	観光PR事業	観光PR事業費	1,757	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏や空港就航先等を含め、広域的な観光PRに努める。 ・旅行会社等へ積極的に情報提供を行い、誘客促進を図る。 	産業課

第 3 章 活 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 5 新 産 業

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
97	産業支援事業	産業支援事業費	202	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・創業セミナー等の創業支援事業を継続するとともに、創業支援センターの利活用を推進し、創業を目指す方々を多面的に支援する。 	産業課
98	産業委員会運営事業	産業委員会運営事業費	0	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・町の産業振興事業をはじめ、各産業の経営安定化や合理化などについて、協議を行い、産業及び地域の活性化を図る。 	産業課

第 3 章 活 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 6 企 業 誘 致

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
99	企業立地振興事業	企業立地振興費	202	現状のまま継続	・町内への企業立地を促進させるため、効果的な手法による企業誘致情報の発信や企業間交流の活性化、企業立地支援体制の強化を図るなどの積極的な企業誘致活動を実施する。	産業課

第 3 章 活 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 7 雇 用 ・ 就 業 対 策

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
100	労働福祉事業	労働福祉費	2,552	現状のまま継続	・勤労者の余暇や健康増進活動等の福利厚生の充実を図り、安定した労働力を確保するため、補助要綱に基づき、榛南地域労働者福祉協議会及び榛南地区勤労者共済会への補助金支出を継続する。	産業課
101	雇用対策事業	雇用対策費	464	現状のまま継続	・引き続き、補助金要綱に基づき榛南職業訓練協会を支援し、職業人として有為な労働者の養成を図る。 ・公共職業安定所と連携を強化し、就業促進を図る。 ・特別支援学校との連携を深め、町内事業所に対して、職場実習や障害者雇用に向けての理解促進を図る。 ・就労に悩みを持つ若者に対して、就労支援セミナーを実施する。 ・インターンシップ受入先企業の開拓や高校・大学等と地域間の交流を促進することにより、当町への雇用創出及び若者定着を図る。	産業課

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野1 土地利用

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
102	国土利用計画 (吉田町計画) 策定事業	—	—	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 吉田町国土利用計画は、国土利用法第8条の規定に基づき、吉田町の区域における土地の利用に関する基本的事項を定めるものである。 第3次吉田町国土利用計画の目標年次は令和5年度となっており、引き続き本計画に沿った土地利用を図る必要があるほか、県、国が実施する研修会等に参加して情報収集を行う。 	企画課
103	土地利用及び 開発行為関連事業	都市計画総務費	514	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 開発許可制度及び土地利用事業承認制度が設けられてから30年以上が経過しており、初期に開発された分譲地の調整池及び公園のフェンス等の劣化がみられるため、調整池の浚渫、フェンスの交換が必要な時期が来ている。また、樹木の繁茂による剪定依頼が増加しており、引き続き適切な管理を行い、快適な住環境の維持に努める必要がある。また、吉田IC周辺の土地利用について、県と協議を進める必要がある。 	都市環境課
		土地利用対策費	2,007			
104	都市計画 マスタープラン 策定事業	—	—	休止	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年3月で中間変更が完了したため、平成30年度以降は休止する。 	都市環境課

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野2 住環境

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
105	建築確認事務事業	建築確認事務費	159	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、「静岡県事務処理の特例に関する条例」に基づき、建築関係法令に規定する事務処理を行う。 	都市環境課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
106	みどりのまちづくり事業	みどりのまちづくり事業費	0	見直しの上で実施	・緑あふれる町づくりを推進するとともに、地震等による災害の防止を図るため、周知方法を見直した上で、引き続き「吉田町生け垣づくり事業補助金」制度の積極的な活用を促進する。	都市環境課
107	花のまち推進事業	花のまち推進事業費	1,622	見直しの上で実施	・花いっぱい快適な生活環境づくりを促進するとともに、花いっぱい活動を通じたコミュニティの活性化を図るため、引き続き、事業を推進する。 ・花街道事業については、現状及びニーズ等を把握し、事業内容全体の見直しも視野に入れた検討を行うことで、より効果的な事業の推進を図る。	都市環境課
108	土地区画整理事業	土地区画整理事業費	61,414	見直しの上で実施	・都市機能の充実した安全で安心な生活環境を確保するために、事業計画に沿った段階的なまちづくりを推進する。 ・土地区画整理事業区域内の保留地処分を進めることにより、定住の促進につなげる。	都市環境課
109	西の宮雨水幹線整備事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	都市環境課
110	町営住宅維持管理事業	町営住宅維持管理費	21,304	現状のまま継続	・「吉田町公営住宅等長寿命化計画」に沿って、町営住宅の修繕及び改善事業を実施する。	都市環境課

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野3 公園・緑地・水辺

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
111	緑化推進事業	緑化推進費	2,934	見直しの上で実施	・引き続き、緑化意識の普及に務めるとともに、緑豊かなまちづくりを進めるため、さらに魅力ある事業になるよう事業内容を検討し、吉田町みどりのオアシスマつりを開催する。	都市環境課
112	公園維持管理事業	公園維持管理費	33,962	見直しの上で実施	・住民の憩いの場である公園を安全に利用できるよう、ベンチや遊具等の点検を行い、計画的に維持修繕を実施する。 ・公園利用者が快適に利用することができるよう、樹木の剪定や草刈等を実施し、適正な公園管理に努める。 ・公共施設の中長期的な管理を実施するため、長寿命化計画の策定を検討する。	建設課
113	都市公園愛護活動事業	公園愛護会支援事業費	300	現状のまま継続	・引き続き、公園愛護活動を自発的に行う団体に対し、報償金制度の積極的な活用を促進する。併せて、他の緑化推進団体と連携し、都市公園施設が、地域住民等により適正に維持管理され、その機能を十分発揮できるよう、より一層の公園愛護活動の助長及び充実を図る。	建設課
114	吉田公園整備事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
115	湯日川緑道整備事業 (湯日川能満寺)	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
116	住吉西の坪公園 整備事業	住吉西の坪公園 整備事業費	2,619	現状のまま継続	・当該公園事業用地の一部が住吉工区における防潮堤整備事業用地及び作業ヤードを兼ねることが予測されることから、将来的な防潮堤及び公園の整備を見据え、この一部用地を取得する。	建設課
117	能満寺山公園等 整備事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
118	住吉西浜地区広場 整備事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
119	松くい虫防除事業	松くい虫防除事業費	3,515	現状のまま継続	・防風、防潮、飛砂防備等、松林の公益的機能を適正に保全するため、事業を継続する。	産業課
120	保安林等保護環境 整備事業	保安林等保護環境 整備事業費	4,226	見直しの上で実施	・防風、防潮、飛砂防備等の機能保全し、未然に不法投棄を防止するために、継続的な環境整備が必要であり、地元町内会と連携する必要がある。	産業課

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野4 道路網

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
121	河川維持管理事業	河川総務費	993	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 河川の環境美化活動を支援する制度(リバーフレンドシップ制度)を広く周知することにより、ボランティア団体の参加数を増やす取組を行う。 快適な河川環境の保全が図れるよう、自発的に河川清掃を実施する団体を支援する。 引き続き、良好な河川環境を確保するため、河川パトロールを実施する。 	建設課
		河川維持管理費	9,574			
122	大幡川幹線道路改良事業	—	—	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画の変更手続きを実施し、社会資本総合整備計画の策定及び路線測量業務に着手する。 	建設課
123	中央幹線整備事業	—	—	休止	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。 	建設課
124	住吉幹線整備事業	—	—	終了	<ul style="list-style-type: none"> 住吉幹線の道路整備は全て完了したため、事業終了とする。 	建設課
125	都市計画道路負担金事業	都市計画道路事業負担金	138	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 他市町と連携を取りながら国や県への要望活動を実施することで、当町を含む志太榛原地区の道路網促進が期待できるので、引き続き同盟会へ参加する。 	建設課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
126	東向2号線道路改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
127	亀の尻線道路改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
128	西の坪大浜線道路改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
129	西の宮線道路改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
130	本田線道路改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
131	中瀬北原線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
132	三軒屋西の宮線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
133	古川川尻線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
134	下片岡山通り線歩道 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
135	中臨港線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
136	吉田坂部線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
137	谷川東塩谷線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
138	日の出向原線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
139	大幡川尻2号線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
140	東村上組線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
141	住吉東中線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
142	役場南線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
143	西川原間屋線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
144	問屋堤線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
145	西向5号線道路改良 事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
146	青柳北原線道路改良事業	青柳北原4号線道路改良事業費	0	休止	・青柳北原4号線道路改良事業については、事業目的であった交差点の拡幅が、角地における土地利用計画事業により解消される見込みが立ち、事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
147	森下西浜線道路改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
148	荒古線道路改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
149	寄子新田2号線道路改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
150	西の坪八軒屋1号線道路改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
151	浜河原5号線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
152	松原線道路改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
153	山通り浜河原線・ 川尻前田1・2号線 道路改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
154	東中1号・西中2号線 道路改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
155	町上3号線道路 改良事業	—	—	現状のまま継続	・令和2年度に道路整備工事を実施し、供用を開始する。	建設課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
156	神戸大幡境2号線 道路改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
157	堤内8号線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
158	境内下神戸線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
159	西浜3号線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
160	東村線道路改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
161	向原6号線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
162	西の宮6号線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
163	三ツ谷線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
164	東村上組2号線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
165	東名側道南1号線 道路改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
166	日の出上2号線 道路整備事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	建設課
167	企業活動維持支援 事業区域基盤 整備事業	企業活動維持支援事業 区域基盤整備事業費	64,487	終了	・令和元年度に事業完了の予定である。	建設課
		企業活動維持支援事業 区域基盤整備事業費 (繰越明許)	27,388			
168	道路維持管理事業	土木管理費	15,321	現状のまま継続	・引き続き、安全で快適な道路環境を確保するため、道路の維持管理に努める。	建設課
		道路維持費	50,576			
169	吉田町内道路舗装 修繕事業	吉田町内道路舗装 修繕事業費	23,202	現状のまま継続	・平成30年度に作成した舗装維持管理計画書に基づき、舗装修繕を進める。	建設課
170	橋梁維持補修事業	橋梁維持補修費	18,800	現状のまま継続	・橋梁点検を行い損傷を分類し、危険状況により、迅速な対策を講じたり、効率的な修繕を実施するための指標として、引き続き実施する。 ・診断結果に基づき、速やかに橋梁補修を実施する。	建設課

第 4 章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野 5 生活交通

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
171	生活交通確保 対策事業	生活交通確保対策費	28,385	見直しの上で実施	・名古屋大学へ委託した調査研究業務の結果を踏まえ、事業者や住民、利用者の代表者により構成され、地域の実情に即した輸送サービスの実現等に関して協議する組織である「吉田町地域公共交通会議」の中で具体的に協議し、「吉田町地域公共交通網形成計画」を策定する。	企画課

第 4 章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野 6 コミュニティ

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
172	自治会活動推進事業	自治振興費	16,639	現状のまま継続	・自治会組織、町内会組織の円滑な運営のため、引き続き、各種補助事業を実施し、より自発的、積極的なコミュニティ活動が行われるよう支援する。	総務課
		自治会運営費	4,402			
		地域施設管理費	4,650			
		町内会運営費	3,800			
		町内会活動費	8,424			
173	コミュニティづくり 推進事業	コミュニティづくり 推進事業費	0	現状のまま継続	・引き続き、多くの町民がコミュニティづくりの研修を受講することにより、生涯学習としてのまちづくりについて学ぶ機会を提供する。また、受講した町民には、地域教育推進協議会の事業への参画を促進する。	生涯学習課
174	コミュニティ施設 整備事業	コミュニティ施設 整備事業費	2,000	現状のまま継続	・コミュニティづくりの推進を図るため、引き続き、本事業を継続し、コミュニティ活動拠点の整備を支援する。	企画課

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野7 多文化共生

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
175	多文化共生推進事業	国際交流推進費	1,002	見直しの上で実施	・多文化共生推進のために必要な事業の選択とその事業の実施方法を検討するとともに、現在の国際交流事業費補助金の補助対象についても見直しを行う。	企画課

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野8 賑わいづくり

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
176	シーガーデンシティ構想推進事業	シーガーデンシティ推進事業費	5,889	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ふじのくにフロンティア推進エリアの新拠点として、東名吉田IC周辺に交通利便性の向上に資する施設の整備に向けた検討を進め地域住民の交通利便性を向上を図る。 ・ふじのくにフロンティア推進エリアの形成に伴い、新たに推進協議会を設置するなど推進体制を整える。 ・「シーガーデンシティ構想推進計画」に基づき、新たな賑わい創出拠点整備の具現化に向け関係機関との連携を図る。 	企画課
177	シティプロモーション事業	シティプロモーション事業費	43,227	見直しの上で実施	・町の移住定住促進に向けた施策等をより広く周知するために様々な手法を用いていく必要がある。	企画課
178	地域おこし協力隊事業	地域おこし協力隊事業費	3,031	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊の活用により、イベントの活性化や情報発信の充実、移住定住の促進を図る。 ・地域おこし協力隊員の活動が円滑に行えるよう、地域との交流の機会を調整し積極的に確保する。 	企画課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
179	ふるさと納税推進事業	ふるさと納税推進事業費	125,601	現状のまま継続	・ふるさと納税に係る国の動向を注視し、ふるさと納税の趣旨に沿った適切な運営に努める。	企画課
180	大井川流域交流事業	大井川流域smileネット事業費	2,156	見直しの上で実施	・総務課で実施している「よしだまちかど情報」への集約を検討し、より効果的・効率的な情報発信体制を整える。 ・イベントの広報の方法や内容を見直し、大井川流域の魅力発信や住民同士の交流促進を図る。	企画課
		大井川流域交流費	652			
181	空港活用推進事業	空港活用推進費	923	現状のまま継続	・空港と地域の調和ある発展を進めるため、吉田町空港対策協議会と連携しながら空港対策及び利活用促進を図る。 ・空港周辺市町が共通の認識の下に空港周辺のまちづくりや賑わいづくりに取り組むため、空港周辺市町空港共生協議会を継続して開催する。 ・静岡空港隣接地域賑わい空間創生事業について、引き続きシーガーデン多目的広場整備事業に補助金を活用する。	企画課
182	交流活性化推進事業	地域交流費	3,935	見直しの上で実施	・「八女市・吉田町未来創造の翼交流事業」について、引き続き八女市との都市間交流事業を実施する。 ・吉田カムカム補助金事業により、町外の多くの人々が当町を訪れ、町の賑わい創出に繋がっていることから、本事業を継続しつつ、人数の要件や補助金額の細分化するなど制度を見直し、新しいイベントの促進に努める。	企画課

第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり

第 5 章 次 代 を 担 う 心 豊 かな 人 を 育 む ま ち づ くり 分 野 1 幼 児 教 育

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
183	幼児教育振興事業	幼児教育振興事業費	30,566	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育カリキュラムについては、現状のまま継続する。 ・就園奨励費補助金については廃止する。 ・運営費補助金については、新しい無償化制度の実施状況を踏まえた上で実施する。 	学校教育課

第 5 章 次 代 を 担 う 心 豊 かな 人 を 育 む ま ち づ くり 分 野 2 学 校 教 育

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
184	教育委員会運営事業	教育委員会費	1,190	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての知識及び見聞を広めるため、視察研修を実施する。 ・教育委員会の権限に委ねられている事項は、引き続き、円滑な執行に努めるとともに、新たな教育施策の執行にあたっては、総合教育会議で合意した方針の下に進める。 ・より審議の活性化を図るとともに、状況に応じて迅速な危機管理体制の構築を図る。 	学校教育課
185	事務局事務事業	事務局事務費	4,938	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、教育関係機関との連携を密にした教育行政を展開し、教育委員会の諸活動を円滑に実施する。 	学校教育課
186	教職員等教育活動補助事業	教職員等負担金・補助金	3,247	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な経費が適切に補助されるよう、現行の補助事業内容を整理した上で、補助対象事業、対象者、対象経費等を見直す。 	学校教育課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
187	ちいさな理科館事業	ちいさな理科館事業費	6,910	見直しの上で実施	・子どもだけでなく大人も活用できる地域住民の生涯学習の場としての事業展開を実施し理科館の活性化を図る。	生涯学習課
188	住吉小学校維持管理事業	住吉小学校維持管理費	34,238	現状のまま継続	・引き続き、確かな学力、豊かな心、健やかな体を培うため、良好な教育環境を整備する。	学校教育課
189	中央小学校維持管理事業	中央小学校維持管理費	36,733	現状のまま継続	・引き続き、確かな学力、豊かな心、健やかな体を培うため、良好な教育環境を整備する。	学校教育課
190	自彊小学校維持管理事業	自彊小学校維持管理費	34,488	現状のまま継続	・引き続き、確かな学力、豊かな心、健やかな体を培うため、良好な教育環境を整備する。	学校教育課
191	吉田中学校維持管理事業	吉田中学校維持管理費	55,896	現状のまま継続	・引き続き、確かな学力、豊かな心、健やかな体を培うため、良好な教育環境を整備する。	学校教育課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
192	中央小学校グラウンド整備事業	—	—	休止	・児童数の変化やグラウンドの利用状況等を見極めながら、適切な整備時期を検討する。	学校教育課
193	小学校校舎改築事業	—	—	休止	・児童数、クラス数の推移により検討する。	学校教育課
194	水泳場整備事業	—	—	廃止	・小中学校のプール改修については、各小中学校の維持管理事業へ集約する。	学校教育課
195	住吉小学校要保護・ 準要保護児童就学 援助事業	住吉小学校要保護・ 準要保護児童 就学援助費	2,124	現状のまま継続	・今後の国及び近隣市町の動向に注視しつつ事業を実施するとともに、新たに開始した新小中学校1年生の入学前支給について必要となる周知や手続きを着実に行う等、適切な援助を行う。	学校教育課
196	中央小学校要保護・ 準要保護児童就学 援助事業	中央小学校要保護・ 準要保護児童 就学援助費	1,449	現状のまま継続	・今後の国及び近隣市町の動向に注視しつつ事業を実施するとともに、新たに開始した新小中学校1年生の入学前支給について必要となる周知や手続きを着実にを行う等、適切な援助を行う。	学校教育課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
197	自彊小学校要保護・ 準要保護児童就学 援助事業	自彊小学校要保護・ 準要保護児童 就学援助費	941	現状のまま継続	・今後の国及び近隣市町の動向に注視しつつ事業を実施するとともに、新たに開始した新小中学校1年生の入学前支給について必要となる周知や手続きを着実に行う等、適切な援助を行う。	学校教育課
198	吉田中学校要保護・ 準要保護生徒就学 援助事業	吉田中学校要保護・ 準要保護生徒 就学援助費	4,938	現状のまま継続	・今後の国及び近隣市町の動向に注視しつつ事業を実施するとともに、新たに開始した新小中学校1年生の入学前支給について必要となる周知や手続きを着実に行う等、適切な援助を行う。	学校教育課
199	住吉小学校特別支援 学級事業	住吉小学校 特別支援学級費	461	現状のまま継続	・特別支援学級の教育環境を充実させるため、児童の特性に鑑み、必要な教材等を提供する。 ・「特別支援学級への就学奨励に関する法律」に基づき、特別支援学級に在籍している児童の保護者に対し、適切に経済的な支援を行う。	学校教育課
200	中央小学校特別支援 学級事業	中央小学校 特別支援学級費	436	現状のまま継続	・特別支援学級の教育環境を充実させるため、児童の特性に鑑み、必要な教材等を提供する。 ・「特別支援学級への就学奨励に関する法律」に基づき、特別支援学級に在籍している児童の保護者に対し、適切に経済的な支援を行う。	学校教育課
201	自彊小学校特別支援 学級事業	自彊小学校 特別支援学級費	465	現状のまま継続	・特別支援学級の教育環境を充実させるため、児童の特性に鑑み、必要な教材等を提供する。 ・「特別支援学級への就学奨励に関する法律」に基づき、特別支援学級に在籍している児童の保護者に対し、適切に経済的な支援を行う。	学校教育課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
202	吉田中学校特別支援学級事業	吉田中学校特別支援学級費	920	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級の教育環境を充実させるため、児童の特性に鑑み、必要な教材等を提供する。 ・「特別支援学級への就学奨励に関する法律」に基づき、特別支援学級に在籍している児童の保護者に対し、適切に経済的な支援を行う。 	学校教育課
203	教育振興事業	教育振興事業費	46,403	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで実施した事業で得た成果を活かして、児童生徒の確かな学力の定着を図る事業を行う。 	学校教育課
		英語教育推進事業費	19,596			
		確かな学力定着事業費	42,838			
		小中一貫教育振興事業費	298			
		教育振興事業費(繰越明許)	295,110			
204	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(共同調理場)	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(給食施設費)	120,533	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、広域施設組合及び関係市と連携し、広域的事業を展開していくため、負担金を支出する。 	学校教育課
205	小・中学校健康診断事業	小・中学校健康診断費	10,709	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生法及び吉田町立学校職員安全衛生管理規程に基づき、健康診断等を通して健康管理を行う。 ・ストレスチェックの実施等、メンタルヘルス関連の対応が問われている。 ・国、県、町健康づくり課の施策・動向に目を配りながら、適切な健康管理が行えるよう事業を行う。 	学校教育課

第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり 分野3 地域教育

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の 方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
206	地域教育推進事業	地域教育推進事業費	1,726	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを育む活動を推進するため、継続した支援を行い、学校・家庭・地域の連携を強化する。 引き続き、家庭教育学級事業を通して、親の役割についての学びの場を提供する。また、親同士がお互いに子育ての悩みを語ったりすることを通して、親同士の交流を深める。 家庭教育学級事業において、多くの親に参加を求めていく必要があるため、魅力的な講座を展開していく。学校行事と抱き合わせで開催したり、親子で体験・参加できる形態をとることで参加しやすくし、また、親が安心して参加できるよう、託児の対応もしていくことで参加率を向上させる。 家庭教育学級の重要性を学校とも連携をとりながら、親へ呼びかける。 現在、中央小学校校区で放課後子ども教室を実施しているが、TCPTリビンスプランの実施に伴い、令和元年度は自彊小学校校区、その翌年度は住吉小学校校区でも4時間授業に対応した放課後子ども教室を実施する予定である。 	生涯学習課
207	地域教育活動事業	地域教育活動費	2,216	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> チャレンジ教室事業を行うことで、子どもに様々な体験を提供することができるとともに、地域の大人と子どもが関わる機会が増え、地域力の向上を図ることができることから、継続して実施する。 チャレンジ教室事業を通して、地域の大人が地域の子どもたちと積極的に関わることにより、「地域の子どもは地域で守り育てる」活動を広める。 チャレンジ教室において、子どもたちが様々な体験ができるよう、幅広い講師の募集を行う必要がある。また、多種多様な教室を展開するため、地域から新たな教室の講師を発掘する。 	生涯学習課

第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり 分野4 青少年健全育成

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の 方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
208	青少年健全育成事業	青少年健全育成事業費	609	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 青少年健全育成委員会事業について、青少年健全育成の環境づくりを行うため、青少年健全育成委員の活動について、引き続き実施する。 青少年健全育成事業において、「地域の青少年は地域で育てる」を柱に地域の青少年に、地域の大人が温かな眼差しを向け、声を掛け、積極的にかかわることを通して、青少年の健やかな成長を支援する。黄色のベストがそのシンボルとなるよう活動を継続する。 	生涯学習課

第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり 分野5 芸術文化・文化財

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
209	芸術・文化振興事業	芸術・文化振興事業費	3,268	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が優れた芸術文化を鑑賞できる機会を得られるよう事業を継続する。 ・文化協会会員が減っている現状にあり、今後、町民に対し、生涯学習活動の一環として文化活動に取り組むよう、推進する必要がある。 	生涯学習課
210	文化財保護事業	文化財保護事業費	456	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会を運営し、文化財の保存・保護に努める。 ・文化財の標柱・案内看板の維持管理を推進する。 ・新規に指定が考えられる事物について、文化財保護審議会で審議する。 ・文化財の保存・保護を図ることにより、郷土の歴史を知り歴史的遺産の価値を理解するとともに、郷土愛を育て、豊かな心を育む教育、文化づくりに繋がる。 	生涯学習課

第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり 分野6 生涯学習

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
211	社会教育総務事業	社会教育総務費	523	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、社会教育を推進するため、社会教育総務事業を実施する。 ・更なる職員の資質向上を図るため、研修会に参加する。 	生涯学習課
212	社会教育委員事業	社会教育委員費	732	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育法第15条の規定に基づく吉田町社会教育委員条例により設置された社会教育委員の資質向上及び会議の活性化を行うため、引き続き、事業を実施する。 	生涯学習課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
213	生涯学習推進事業	生涯学習推進事業費	116	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、生涯学習推進委員への研修会を行い住民の生涯学習社会への理解を深める。 誰もが学習機会を持てるよう、障害者(児)に対し、生涯学習の活動支援を行う。 	生涯学習課
214	中央公民館活動事業	中央公民館活動費	6,060	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 継続して町民の学習機会を提供するため、参加者アンケート等を実施し、学習ニーズの把握に努める。 寿大学、シニアカレッジ、生涯学習教室へより多くの人に参加してもらうために、魅力ある講座を開講し、学習機会の充実を図る。 	生涯学習課
215	中央公民館運営事業	中央公民館運営費	10,050	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、町民に対して快適な生涯学習環境を提供するため、引き続き、施設・設備の適切な維持管理を行う。 電力量の監視による空調運転時の最大需要電力を抑制し、維持管理費の削減を図る。 	生涯学習課
216	学習ホール運営事業	学習ホール運営費	7,765	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化や耐震性の課題に対して、計画的な改修や修繕を検討するとともに、誰もが安全、安心して利用しやすい施設となるよう整備する。 	生涯学習課
217	図書館管理事業	図書館管理費	44,119	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 図書館機能を活用した「地域の知の拠点」づくり推進のため、建物、設備やIT機器等の性能及び機能を常時適切な状態に保つよう維持管理に努める。また、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(平成24年12月文部科学省告示第172号)を達成できるよう、情報処理機能の向上を図り、有効かつ迅速なサービスを行うことができる体制を整える。 	生涯学習課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
218	図書館活動推進事業	図書館活動推進費	25,868	現状のまま継続	・蔵書の新鮮度が低いと、利用者への資料・情報の提供量が低下してきている。今後も計画的な図書の除籍作業を行うとともに、図書資料とは異なる特性を持つ視聴覚資料の収集も含め、図書館の蔵書構成を見直し資料保存の在り方を検討することで、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(平成24年12月文部科学省告示第172号)の趣旨に沿った図書館運営が行えるようにする。	生涯学習課
219	図書館外構整備事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和2年度は休止とする。	生涯学習課

第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり 分野7 スポーツ・レクリエーション

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
220	体育施設・広場維持管理事業	体育施設・広場維持管理費	8,885	現状のまま継続	・今後も施設点検を定期的実施し、不具合箇所を早急に改善していくことで、安全で快適にスポーツができる場を提供し、スポーツ人口の増加を図る。	生涯学習課
221	総合体育館運営事業	総合体育館運営費	30,627	見直しの上で実施	・東京五輪に向けて更なる利用者数の増加が見込まれるため、新たなニーズに対応するべく、各種事業の内容充実を図る。 ・館内の高温対策、アリーナ床シートの結露対策等、新たな課題が浮き彫りになってきているので、それぞれの課題に対応した策を講じる。	生涯学習課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
222	吉田町体育センター 運営事業	吉田町体育センター 運営費	2,114	見直しの上で実施	・今後も、利用者に対し快適な環境で安心してスポーツのできる場を提供していくため、引き続き、施設の整備及び維持管理を実施する。	生涯学習課
223	社会体育振興事業	社会体育振興費	8,475	見直しの上で実施	・各種大会及び教室の参加者数の推移や町民ニーズを把握し、リニューアルした総合体育館を活用した魅力的な事業を実施する。	生涯学習課

第6章 豊かな自然と共生するまちづくり

第 6 章 豊 かな 自 然 と 共 生 す る ま ち づ く り 分 野 1 上 水 道

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
224	水道事業会計 (資本的支出) 建設改良事業	建設改良費	219,496	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 水道水の安定供給を図るため、基幹管路(導水管・送水管)の耐震化事業を進める。 法定耐用年数を経過した管路を更新する老朽管布設替事業では、漏水事故・地下漏水等の無効水量を減らすために計画的に耐震管に整備する。 	上下水道課
		固定資産購入費	1,431			
225	水道事業会計 (水道事業費) 営業費用	原水浄水及び配水給水費	129,961	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 水道事業は、水道法第6条第2項に「市町村経営の原則」が規定されており、地方公営企業法第17条の2には、「地方公営企業の経理は、一部例外を除き、当該地方公営企業の経営に伴う収入をもって充てなければならない、独立採算制であること。」が規定されている。今後とも、「水道の三原則(清浄、豊富、低廉)」を意識して、安全な水を安定して供給する。 	上下水道課
		受託工事費	640			
		業務費	38,888			
		総係費	23,386			
		減価償却費	232,491			
		資産減耗費	14,485			
		その他営業費用	111			
226	水道事業会計 (水道事業費) 営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	52,191	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 健全財政を維持し、適切な企業会計処理を行う。 経営戦略に基づき、企業債の借用を必要最小限度に止め、経営の健全化を図る。 	上下水道課
		繰延資産償却	4,240			
		雑支出	49			
		消費税	15,753			
227	水道事業会計 (水道事業費) 予備費	予備費	0	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 不測の事態に対応するため、予備費を予算項目として計上する。 	上下水道課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
228	水道事業会計 (資本的支出) 企業債償還金	企業債償還金	158,813	現状のまま継続	・引き続き、償還計画に基づき、償還を進める。	上下水道課
229	水道事業会計 (水道事業費) 特別損失	その他特別損失	0	現状のまま継続	・会計処理上の不測の事態に対応するため、特別損失を予算項目として計上する。	上下水道課
230	水道事業会計 (資本的支出)国庫 (県)支出金償還金	—	—	現状のまま継続	・健全財政を維持し、適切な企業会計処理を行う。	上下水道課

第6章 豊かな自然と共生するまちづくり 分野2 下水道・浄化槽・し尿処理

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
231	公共下水道事業 繰出金	公共下水道費	632,951	現状のまま継続	・汚水の安定処理や公債費の定期償還など、下水道事業の執行に滞りがないようにするため、下水道事業に係る収入で賄えない費用に対し、一般会計から繰出しを継続する。	上下水道課
232	公共下水道事業 特別会計 (建設費)	管渠建設費	275,946	現状のまま継続	・下水道の普及促進のため、吉田町公共下水道全体計画及び吉田町公共下水道事業計画に沿って事業を実施する。 ・地震対策については、吉田町公共下水道総合地震対策計画に沿って耐震化事業を事業を実施する。	上下水道課
		浄化センター建設費	167,435			

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
233	公共下水道事業 特別会計 (維持管理費)	管渠維持管理費	8,781	現状のまま継続	・ストックマネジメント計画に基づく予防保全型の施設管理を行い、点検整備に係る費用や故障による修繕費用の抑制を図る。	上下水道課
		浄化センター維持管理費	124,395			
234	公共下水道事業 特別会計 (公債費)	元金	432,854	現状のまま継続	・引き続き、地方債残高を減らすため、借入先からの償還表に基づいて地方債を償還する。	上下水道課
		利子	121,772			
235	生活排水改善 対策事業	生活排水改善対策事業費	24,894	現状のまま継続	・浄化槽の設置が進み、生活排水による公共用水域の水質汚濁が防止されるよう、引き続き本事業を推進する。	上下水道課
236	吉田町牧之原市 広域施設組合負担金 (し尿処理費)	吉田町牧之原市 広域施設組合 負担金(し尿処理費)	93,887	現状のまま継続	・引き続き、広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的な事業を展開していくため、負担金を支出する。	都市環境課

第 6 章 豊かな自然と共生するまちづくり 分野 3 環境衛生

No.	実施計画事業名	平成29年度の予算事業		平成31(2019)年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
237	環境衛生推進事業	環境衛生推進事業費	4,485	現状のまま継続	・引き続き、狂犬病予防法に基づく事務処理及び一般廃棄物処理業の届出に係る事務処理を行う。また、補助金等を活用して飼い主のいない猫への対策を実施する。	都市環境課
238	環境保全事業	環境保全費	22,813	現状のまま継続	・引き続き、公共用地の除草作業、不法投棄物の回収等を速やかに実施し、環境保全に取り組む。	都市環境課
239	環境教育推進事業	環境教育推進事業費	388	現状のまま継続	・環境に対する啓発事業の拡大を図り、町民が環境を考える機会を増やす。 ・静岡県地球温暖化防止活動推進センター等と連携を図り、環境教室の開催方法や内容、受講者の募集方法、対象者について検討する。	都市環境課
240	公害対策事業	公害対策費	3,916	現状のまま継続	・大気汚染防止法等の法律に基づく特定施設について、排出物質等の規制値の遵守や公害事故防止対策の指導を行うことにより、生活環境を保全する。 ・公害苦情発生時には早急に対応し、状況に応じた公害監視体制について検討する。	都市環境課
241	吉田町牧之原市 広域施設組合負担金 (火葬場費)	吉田町牧之原市 広域施設組合 負担金(火葬場費)	14,584	現状のまま継続	・引き続き、広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的な事業を展開していくため、負担金を支出する。	都市環境課

第 6 章 豊かな自然と共生するまちづくり 分野 4 ごみ減量・リサイクル

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
242	ごみ減量・リサイクル推進事業	ごみ減量・リサイクル推進事業費	7,622	現状のまま継続	・今後も、資源を有効に活用するため、生ごみ処理機器等設置費補助金制度の積極的な活用の推進や刈草等の堆肥化事業を行う。	都市環境課
243	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(ごみ処理費)	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(ごみ処理費)	432,391	現状のまま継続	・引き続き、広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的な事業を展開していくため、負担金を支出する。	都市環境課

第 6 章 豊かな自然と共生するまちづくり 分野 5 地球温暖化防止対策

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
244	地球温暖化防止対策事業	地球温暖化防止対策事業費	1,421	現状のまま継続	・地球温暖化を防止するため、引き続き自然エネルギーを活用した機器等に対する補助を交付する。	都市環境課

第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり

第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり 分野1 行財政

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の 方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
245	一般行政事務事業 (企画)	企画調査費	706	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・絶えず変化する行政課題に柔軟に対応するため、常に最新の情報を収集するとともに、調査研究を継続して行う。 ・令和元年度に最終年度を迎える「第5次吉田町総合計画前期基本計画」及び「吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、吉田町総合計画等審議会において、効果検証を実施する。 ・令和元年度に策定される「第5次吉田町総合計画後期基本計画」及び次期「吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」が令和2年度からスタートする。 	企画課
246	吉田町総合計画 策定事業	吉田町総合計画 策定事業費	1,130	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度において、後期基本計画の印刷製本を行うとともに、令和元年度に終了する第5次前期基本計画の評価を行う必要がある。 	企画課
247	行財政構造改革 推進事業	行財政構造改革 推進事業費	30	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・非効率な事務運営を是正するため、「吉田町まちづくりステップアップ行政評価」による、PDCAサイクルに基づいた事業の見直しを継続して実施する。 ・引き続き、吉田町行財政構造改革推進本部会議において、行財政改革に関することを中心に審議を実施する。 	企画課
248	一般行政事務事業 (総務)	一般行政事務費	40,881	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・行政事務を、適正かつ円滑に執行し、最小の経費で最大の効果を上げられるよう、引き続き、事務改善に努める。 	総務課
249	吉田町牧之原市 広域施設組合負担金 (一般管理費)	吉田町牧之原市 広域施設組合 負担金(総務管理費)	29,978	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的な事業を展開していくため、負担金を支出する。 	総務課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
250	日曜開庁事業	日曜開庁事業費	3,857	現状のまま継続	・引き続き、行政サービスの利便性の観点から、日曜開庁を実施する。	総務課
251	庁舎施設維持管理 事業	庁舎管理費	74,782	現状のまま継続	・町民が快適に利用できる施設として、引き続き清掃・設備点検等の日常的管理及び建物・設備などの修繕を実施し、行政サービスの拠点となる庁舎の適切な維持管理を行うとともに、電力量の監視による空調運転時の最大需要電力を抑制することにより、維持管理費の削減を図る。	総務課
252	公有財産管理事業	公有財産管理費	20,999	現状のまま継続	・土地の借上げ・公共施設の修繕、法定点検または町有地の売却・貸付については、町有財産の適正な維持管理を図るため、継続して実施する。 ・公共施設等総合管理計画を活用しながら、必要な修繕を行い、適正な維持管理を実施する。	総務課
253	公用車管理事業	公用車管理費	2,227	現状のまま継続	・安全かつ迅速に公務を執行するために、引き続き公用車の管理を行う。	総務課
254	契約管理事業	契約管理費	1,789	現状のまま継続	・引き続き、工事検査及び入札・契約事務を円滑かつ適正に執行するとともに、制度の見直しについても検討する。	総務課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の 方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
255	選挙管理事業	選挙管理費	459	現状のまま継続	・公職選挙法に基づく事業であり、引き続き、公正かつ適正に執行する。	総務課
256	明るい選挙推進事業	明るい選挙推進費	94	現状のまま継続	・引き続き、選挙人の政治意識の向上のため、投票参加を呼び掛ける選挙啓発を行う。	総務課
257	参議院議員選挙事業	—	—	休止	・公職選挙法に基づく参議院議員の選挙に関し、市町村が処理することとされている事務であるが、令和2年度においては、選挙の予定はない。	総務課
258	衆議院議員選挙事業	—	—	休止	・公職選挙法に基づく衆議院議員の選挙に関し、市町村が処理することとされている事務であるが、令和2年度においては、選挙の予定はない。	総務課
259	県知事選挙事業	—	—	休止	・公職選挙法に基づく静岡県知事の選挙に関し、市町村が処理することとされている事務であるが、令和2年度においては、選挙の予定はない。	総務課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
260	県議会議員選挙事業	静岡県議会議員 選挙費	2,451	休止	・公職選挙法に基づく静岡県議会議員の選挙に関し、市町村が処理することとされている事務であるが、令和2年度においては、選挙の予定はない。	総務課
261	町長、町議会議員 選挙事業	—	—	休止	・公職選挙法に基づく町長、町議会議員選挙に関し、市町村が処理することとされている事務であり、令和2年度においては選挙の執行予定はない。	総務課
262	一般行政事務事業 (戸籍住民基本 台帳事務)	戸籍・住民基本台帳 事務費	39,191	見直しの上で実施	・住民基本台帳法の改正により、令和元年11月5日からマイナンバーカード、住民票の写し及び印鑑登録証明書等に旧姓を併記することができるようになったことから、これに係るマニュアルを整備し事務手続きが円滑に遂行できるようにする。 ・総合証明自動交付機と証明書コンビニ交付サービスの併用は利便性の向上となるが経費がかかることから、今後の方向性について検討する。 ・住民サービスの向上とマイナンバーカードの普及を促進するため、マイナンバーカードの申請、交付について周知、広報する。	町民課
263	一般行政事務事業 (出納管理事務)	出納管理事務費	1,799	現状のまま継続	・公金の収納及び支払い事務を円滑、適正に執行する。 ・合理的な資金運用を検討し、確実性のある運用を行う。 ・効率的な事務執行に向けて検討し、改善を図る。	会計課
264	一般行政事務事業 (議会)	議会運営費	66,825	見直しの上で実施	・「開かれた議会」の実現に向け、吉田町議会基本条例の推進及び議会報告会の充実等に必要となる検討をさらに行うとともに、その支援を積極的に行う。 ・議会ICT化について、より一層の推進を図るための支援を積極的に行う。	議会事務局
		議会調査活動費	3,612			

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
265	一般行政事務事業 (監査)	監査委員費	930	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・監査をより充実させるため、監査日数(回数)及び方法等について、引き続き検討する。 ・監査事務強化のため、監査委員事務局の設置及び専門性を持った職員の配置について検討する必要がある。 	議会事務局
266	統計調査事業	統計一般事務費	171	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・各種行政運営に必要なデータを得るため、引き続き実施する。 ・令和2年国勢調査の円滑な実施を図る。 ・統計要覧発行事業は、行政だけでなく住民、企業等に町の状況を正確に周知するために、必要な事業であるため、継続して実施する。 ・町民に広くPRし、より多くの登録統計調査員を確保する。 	企画課
		諸統計調査費	1,824			
267	土地取得事業 繰出金	—	—	休止	<ul style="list-style-type: none"> ・用地先行取得に係る土地取得事業特別会計の起債償還に対する事業であるが、現在、対象となる償還は無い。 	総務課
268	土地取得事業 特別会計	一般管理費	194	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・土地開発基金への積み立ては継続し、また、用地の先行取得が必要な際は、即座に対応できるよう事業を継続する。 ・今後取得費を借入した場合には、次年度以降元金及び利子を公債費により償還する。 	総務課
		財産取得費	10,658			
		繰出金	5,271			
269	普通財産活用事業	普通財産取得費	0	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に土地取得事業特別会計から土地を買い戻し、一般競争入札に付し、土地の売払いを行う。 	総務課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
270	財政管理事業	財政管理費	3,688	見直しの上で実施	・社会保障費等の増加、会計年度任用職員制度の導入、老朽化が進む公共施設等の適正管理等による財政需要の増加が見込まれる中での予算編成を行わなければならないことから、これまで以上に既存事業の必要性・妥当性を精査し財源を確保する必要がある。	企画課
271	公債費償還事業	公債費(元金)	1,037,898	現状のまま継続	・引き続き、借入先からの償還表に基づいて地方債を償還する。	企画課
		公債費(利子)	85,507			
		公債諸費	0			
272	基金費事業	財政調整基金費	364,786	見直しの上で実施	・今後の財政需要や不測の事態に備えるため、財政調整基金及びその他特定目的基金、必要に応じて新たな基金の創設を検討する必要がある。	企画課
		減債基金費	30			
		環境保全基金費	1			
		小中学校建設基金費	49			
		教育振興基金費	196			
ふるさとよしだ寄附金基金費	49,206					
273	予備費事業	予備費	0	現状のまま継続	・引き続き、財政の均衡を阻害しない程度の金額で予備費を設け、緊急に解決すべき不測の行政課題に対応する。	企画課
274	税務総務事業	税務総務費	21,776	現状のまま継続	・引き続き、税務総務事業を継続し、税務事務の効率化を進める。	税務課

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
275	賦課徴収事業	賦課徴収費	37,077	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、各種調査を一層強化し滞納処分を実施する。 収納率の向上を図るため、口座振替の推進、収納の利便性を向上させる。 	税務課
276	臨時職員対策事業	臨時職員対策事業費	58,535	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、行政運営を円滑、効率的に進めるため、必要に応じて臨時職員を任用する。 	総務課
277	人事管理事業	人事管理費	9,888	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、効率的な行政運営に資するため、適正な定員管理を行う。 採用試験の実施について、より効率的に実施する。 マイナンバー制度導入により、給与・共済関係事務において、個人番号の記載項目が追加された書類が増えている。引き続き、職員等の個人番号の取扱いに厳格な注意が必要である。 	総務課
278	職員福利厚生事業	職員福利厚生費	3,349	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 地方公務員法第42条及び労働安全衛生規則に基づき、事業を継続して実施する。 事業主によるメンタルヘルス不調の予防を目的とした「ストレスチェック」の実施が平成27年12月から義務化されたため、「ストレスチェック」の実施に伴う静岡県市町村職員共済組合からの助成(一人1,000円)が廃止され、平成28年度から事業主独自の「ストレスチェック」の実施を行っている。メンタルの不調者を出さないためにも、チェック後の研修等、結果を生かす対応に引き続き取り組む必要がある。 	総務課
279	職員研修事業	職員研修事業費	4,860	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 地方分権に伴う自律的な政策形成や組織運営を担うことができる職員の育成を図るため、引き続き職員研修を実施する。 	総務課

第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり 分野2 高度情報化

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
280	情報化推進事業	情報化推進費	56,220	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ICTの有効活用により事務の効率化や行政サービスの向上を図るため、引き続き見直しを行い、より効率的な事務処理に必要な環境整備を図る。 マイナンバー制度による情報連携を適切に実施していくため、安全かつ確実にセキュリティの強化を図る。 	総務課

第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり 分野3 情報公開

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
281	情報公開制度推進事業	情報公開制度推進費	3,571	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 吉田町情報公開条例及び吉田町個人情報保護条例に基づき、適正に事業を進める。 	総務課

第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり 分野4 広報・広聴

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
282	広報・広聴事業	広報・広聴事業費	9,889	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、わかりやすく見やすい広報紙の作成に心がける。 町内のコンビニや図書館などの公共施設及び金融機関に配架を依頼し、隣組に属さない町民にも情報が届くように努める。 町民への説明責任を果たすとともに、町政に対するニーズを的確に把握し各種施策に反映させるため、引き続き、どこでも訪問しますDAY、町政報告会等の広聴事業を実施する。 町民にとって分かりやすい情報をより適切に発信していくため、ホームページ及び情報発信アプリケーションの構成について検討する。 広報紙やホームページ、情報発信アプリケーションといった情報発信媒体について、発信者受信者双方が利用しやすいよう、媒体間の連携の可能性について検討する。 	総務課

第 7 章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり 分野 5 住民参画

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
283	吉田町表彰事業	吉田町表彰費	539	現状のまま継続	・町政に対する関心や参画意識を高めるため、引き続き、条例等に基づき、まちづくりに大きく貢献した住民を表彰する。	総務課
284	住民参画推進事業	住民参画推進事業費	5	見直しの上で実施	・住民参画がさらに図られるよう、当町に合った住民参画手法等の検討・導入が必要である。	企画課

第 7 章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり 分野 6 男女共同参画・人権尊重

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
285	男女共同参画推進事業	男女共同参画推進費	2,043	見直しの上で実施	・男女共同参画社会の実現に向け、女性の意見を町政により一層反映させるための仕組みの構築について検討していく。 ・吉田町男女共同参画プラン検討委員会等を開催し、引き続きプランの評価及び進捗管理を実施していく。 ・既存の取組に加え、さらに啓発の方法について検討する。	企画課
286	地域福祉推進事業 (人権啓発事業)	人権・地域改善費	395	見直しの上で実施	・隣保館(神戸西会館)は、福祉の向上や人権啓発のための住民交流拠点となる地域に密着した福祉センターとしての機能を発揮することが求められており、多様な地域住民ニーズと人権問題に応えるため、時代に即した隣保館機能をハード・ソフトの両面から備えることができるよう見直す必要がある。(施設修繕計画の立案、相談機能の強化等)	福祉課
		神戸西会館運営費	4,021			

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
287	人権教育事業	人権教育事業費	26	現状のまま継続	・今後も、人権問題に対する正しい理解と解決に向けて、講演会の開催や担当職員の研修会等への参加を継続し、人権意識の高揚と職員の資質向上を図る。	生涯学習課

第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり 分野7 ユニバーサルデザイン

No.	実施計画事業名	平成30年度の予算事業		令和2年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
288	ユニバーサル デザイン推進事業	ユニバーサルデザイン 推進費	0	見直しの上で実施	・「公共施設ユニバーサルデザイン化及び省エネルギー・新エネルギー機器導入助成事業」を効果的に活用できるよう、各課と連携を図り、事業を実施する。 ・「誰もが暮らしやすいまち」づくりに向け、庁内でユニバーサルデザインに関する情報を共有し、一体となってユニバーサルデザインを推進する体制を整備する。	企画課